

令和 6 年度工賃向上計画書

作業工賃 令和 6 年度目標工賃額 (月額)	作業工賃 令和 5 年度平均工賃額実績 (月額)	目標工賃を設定する、達成するための目的	
月額 53,000 円	52,455 円	企業との連携をより強化することにより、就職支援・高工賃および日常生活の充実にもつなげていく。	
目標工賃を達成するための提案		それぞれの提案のメリットとデメリットを明らかにする	
		メリット	デメリット
1	企業内作業（施設外就労）の業務を拡大する。	より多く企業内作業を獲得することは一人当たりの作業単価に直結する。	企業・利用者にとって失敗とならないように確実に進める必要がある。
2	企業で作業をしているという意識をつけるため、ネームプレートの着用の徹底、ふさわしい身だしなみに注意する。	企業・利用者・支援者の意識を合わせることで企業側の目線を知る。	
3	パソコン業務を充実させていく。	業務としては作業や工賃の交渉がしやすい傾向にある。	現状、常にパソコンの業務依頼があるわけではない。
4	通所率の向上。個々がより作業を覚え、よりスキルアップしていく。	自発的に作業に入れ、作業のレベルアップが見込める。	疲れが出てくるため、細やかな精神的なケアが必要。
5			
6			
提案から考えるホープ大和の目標工賃向上計画案		目標工賃向上計画案を実行するための計画	
企業との連携（施設外就労）を充実させ、積極的に作業を獲得し、より高い工賃実績、就労実績に結び付けていく。作業は企業内作業や一般就労をイメージしやすい業務を行うことにより、達成感、責任感の獲得、自尊心の回復にもつなげていく。		1	施設外就労先企業に絶えず新作業や人数増員の提案をする。
		2	作業用の PC を一新し業務の効率化を図る。
		3	会員企業への新たな施設外就労の提案。
		4	
		実行状況を確認する頻度：半年後（九九カード作業終了時ごろ）に見直しを行う。	